

人権について学ぶ 「人権教室」開催

只見中学校生徒を対象に「人権教室」が6月27日に只見中学校で開催され、只見町人権擁護委員の角田行雄さん、鈴木美穂さん、渡部早苗さんが講師を務めました。

生徒たちは、SNSに写真を掲載する際に人権保護のために考えなければならぬことなど人権保護等について学びました。

角田氏は「生活の中で人権の重みを感じてほしい」と伝え、生徒は「インターネットの危険性を知ることができました。気をつけるようにしたいです」と話しました。



▲人権擁護委員の皆さんから。人権の大切さを学びました

JR只見線応援のために 夢広場から 寄附をいただきました

夢広場主催の『JR只見線応援「歌と踊りのチャリティーショー」』が7月2日に季の郷湯ら里で開催されました。

昨年10月に全線運転再開した只見線を運転再開後も応援してというところ、多くの方が集まりました。

第1部では支援者が友情出演し、歌や踊りで会場を盛り上げました。第2部冒頭では、当日の来場者などから集まった寄付金などの寄贈が行われ、夢広場代表の菅初美さんが、渡部町長に手渡しました。



▲募金箱を手渡す菅さん

日本ユネスコエコパークネットワーク 横浜国立大学と連携協定

国内10地域のユネスコエコパーク登録地域で構成される「日本ユネスコエコパークネットワーク（JBRN）」の年次大会が、7月24日に神奈川県横浜市で開催されました。

今回の大会は、総会、情報交換会、横浜国立大学との連携協定締結式の3部制で行われました。

総会では新たに横浜国立大学と公益財団法人日本自然保護協会と連携協定を締結することが全会一致で承認されました。



▲大会には全国のJBRN関係者が集まりました

総会での承認後、横浜国立大学の梅原学長とJBRN会長を務める渡部只見町長が協定書に調印を行いました。両者は、同大学付属小中学校のユネスコスクール活動や、各ユネスコエコパークでの学生・教員の研究活動のさらなる推進によって、持続可能な社会の実現に向け連携し取り組んでいくことを確認しました。

日本自然保護協会とJBRNの連携協定締結式は年内に行われる予定で、各ユネスコエコパークと民間企業や専門家との資源調達を含めたパートナーシップの構築により、生物多様性の損失を止め、回復させる。目標の実現に向けた取り組みを推進するため連携を図っていくこととなります。



▲協定書を掲げる梅原学長と渡部会長